１　取組名称

自主的国際交流力を養う為の専門英語教育プログラム

２　取組組織等

理工学研究科（物理学専攻、物質化学専攻、生命科学専攻）

３　取組実施代表者名

理工学研究科物理学専攻・准教授　柳　和宏

４　取組年度期間

平成２６年度

５　取組の概要

本取組では、学部学生（主として物理学、化学、生命科学の３コース）が、英語を駆使した国際交流活動を自主的に行うことが出来る力を得ることを目標とした、専門英語講義プログラムを年間を通して定期的に提供する。

具体的には、学生の取り組み能力に合わせた英語での講義を２段階で開講する。各コースの専門分野の内容を英語で行い、専門英語講義を聴講するだけの受動的な講義ではなく、講師との質疑を中心に進める「講師とのやりとりを主とする講義」。また、専門英語の講義に実績のある外部講師により、専門分野に関連した内容の発表・質疑・議論を通して、より密な英語でのコミュニケーション能力向上を目指す「受講者同士のやりとりを主とする講義」を実施する。

その結果として、国際交流プログラムに自主的に参加希望する学生数が増えること、国際交流プログラムを利用した海外での課外活動の成果が高まることが期待できる。また、学部４年生で行われる“「かわいい子には旅をさせよ」プロジェクト”や大学院での“海外インターンシップ”へとつながる学部学生向けのプログラムを提供する。

６　事後評価での総合評定

２．６　※審査会（教育担当副学長及び部局長構成）の審査員が行った4段階評価（4～1、4が最高点）の平均点

７　事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

・いくつかの授業形態で、英語による授業の開講を推進するプログラムであり、今後の本学の国際化に資するものである。

・専門分野での会話は独特である。学部生にはそのような場面に触れることが無いだけに、この企画は生きる。

・専門教育を英語で受講した学生が、どの程度専門的知識を獲得したかの検証が必要である。